



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
 コード番号 3431 URL <http://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,355	20.1	1,165	188.0	1,216	176.6	698	304.8
29年3月期第1四半期	8,620	0.1	404	10.1	439	6.9	172	91.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,387百万円 (698.2%) 29年3月期第1四半期 173百万円 (91.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.27	
29年3月期第1四半期	2.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	46,457	22,368	42.2
29年3月期	47,146	21,301	40.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 19,600百万円 29年3月期 18,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は4円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	28.0	1,500	40.8	1,500	33.8	800	0.3	11.75
通期	49,000	35.0	2,600	2.8	2,600	0.5	1,600	26.7	235.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	69,194,543 株	29年3月期	69,194,543 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,127,939 株	29年3月期	1,127,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	68,066,983 株	29年3月期1Q	68,071,654 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成29年6月28日開催の第14回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて、同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。
 - 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 4.00円
 - 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 23.51円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況(連結)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国や欧州の政治動向や中国を始めとするアジア新興国等の海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などが懸念されるなか、政府の各種経済対策の効果から雇用情勢や所得環境の改善が続き、輸出や生産、個人消費も持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、公共投資が横這いで推移するなか、当第1四半期連結累計期間の総発注量は前年同期比で僅かに増加したものの依然として低水準であり、厳しい事業環境が続いております。

受注高につきましては、積極的な営業活動を進め、新設橋梁に加え、沈埋函、ならびに免耐震工事などの民間案件を受注した結果、121億17百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事が概ね順調に進捗したことから、103億55百万円（同20.1%増）となりました。

損益につきましては、各工事が概ね順調に進捗していることに加え、一部大型工事において採算性が改善したことから、営業利益は11億65百万円（同188.0%増）、経常利益は12億16百万円（同176.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億98百万円（同304.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(宮地エンジニアリング)

受注高につきましては、技術提案力の強化など受注強化策を推進したものの、39億98百万円（同67.6%減）にとどまりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、63億2百万円（同24.3%増）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上、全社挙げての経費削減などに取り組んだことにより、営業利益は3億81百万円（同223.4%増）となりました。

(エム・エムブリッジ)

受注高につきましては、積極的な営業活動に努めた結果、81億17百万円（同165.6%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、47億52百万円（同35.0%増）となりました。

損益につきましては、工事採算性の向上により、営業利益は8億72百万円（同118.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較して6億89百万円減少し、464億57百万円となりました。主な要因は、工事代金の入金が順調であったことから、現金預金が5億61百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が9億30百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して17億56百万円減少し、240億88百万円となりました。主な要因は、手持ち資金の増加分を借入金の返済に充て、短期借入金が18億円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して10億67百万円増加し、223億68百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が4億26百万円、非支配株主持分が3億38百万円、その他有価証券評価差額金が2億85百万円それぞれ増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、経済再生・デフレ脱却に向けて前進しておりますが、米国や中国、欧州の政策の動向などから海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意が必要であり、先行き不透明感があります。

当業界におきましては、今後も激しい受注競争が続くものと思われませんが、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、グループが有する豊富な実績・技術力・架設力を最大限活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努め、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。また、高速道路や新幹線などの大規模更新・修繕工事の保全・補修事業、シールドトンネル向けの鋼製セグメント事業、ハイブリッドケーソン・浮体構造物・沈埋函などの沿岸構造物事業、有望な製品の多いFRP事業、および東京オリンピック・パラリンピック大会開催に伴う建築・土木関連事業などに経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化し、併せて、i-Constructionの推進に積極的に取り組み、生産性を向上させ、一段の飛躍を図ってまいります。

当社グループは、グループとしての経営管理体制を一層強化し、安定した黒字体質を確固たるものとするよう努め、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社、エム・エムブリッジ株式会社とともに更なる事業発展を図ってまいります。両社は、共同企業体を組成して大型案件に応札するとともに、きめ細かな応札対応を展開し受注確率を高め、また、経済合理性を最大限追求することを基本に、製造部門の生産効率化を図り、資機材の共同購入・活用、技術の相互利用・共同開発、人材交流の推進に取り組むとともに、経費削減などを強力に進め、グループの企業価値を高めると同時に経営基盤を一層強化してまいります。

なお、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,487,637	9,049,560
受取手形・完成工事未収入金等	19,220,155	18,289,716
未成工事支出金	2,176,404	1,250,448
その他	548,394	746,939
流動資産合計	30,432,591	29,336,665
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,028,192	8,028,192
その他(純額)	3,562,046	3,564,224
有形固定資産合計	11,590,238	11,592,417
無形固定資産	101,538	96,643
投資その他の資産		
投資有価証券	4,514,268	4,925,947
その他	558,049	555,874
貸倒引当金	△50,190	△50,220
投資その他の資産合計	5,022,128	5,431,602
固定資産合計	16,713,906	17,120,663
資産合計	47,146,497	46,457,328
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	8,762,848	8,195,661
短期借入金	4,700,000	2,900,000
未払法人税等	297,001	161,969
未成工事受入金	2,118,280	3,383,795
完成工事補償引当金	474,485	489,959
工事損失引当金	1,486,600	1,095,200
事業構造改善引当金	34,106	34,106
その他の引当金	468,945	217,953
その他	1,501,341	1,473,659
流動負債合計	19,843,610	17,952,304
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
再評価に係る繰延税金負債	1,789,708	1,789,708
引当金	83,066	88,228
退職給付に係る負債	2,679,868	2,717,177
その他	1,149,052	1,241,575
固定負債合計	6,001,696	6,136,689
負債合計	25,845,306	24,088,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,206	3,746,206
利益剰余金	7,843,133	8,269,626
自己株式	△227,837	△227,978
株主資本合計	14,361,503	14,787,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,319,452	1,605,231
土地再評価差額金	3,487,245	3,487,245
退職給付に係る調整累計額	△297,153	△280,164
その他の包括利益累計額合計	4,509,544	4,812,313
非支配株主持分	2,430,143	2,768,166
純資産合計	21,301,190	22,368,334
負債純資産合計	47,146,497	46,457,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
完成工事高	8,620,629	10,355,033
完成工事原価	7,532,716	8,513,799
完成工事総利益	1,087,912	1,841,233
販売費及び一般管理費	683,320	676,162
営業利益	404,591	1,165,071
営業外収益		
受取利息	467	386
受取配当金	39,858	49,424
その他	11,861	16,568
営業外収益合計	52,186	66,378
営業外費用		
支払利息	11,499	9,841
前受金保証料	4,825	2,441
その他	812	3,059
営業外費用合計	17,137	15,341
経常利益	439,641	1,216,108
特別損失		
固定資産除却損	5,842	6,366
その他	56	—
特別損失合計	5,898	6,366
税金等調整前四半期純利益	433,742	1,209,741
法人税、住民税及び事業税	67,176	124,733
法人税等調整額	103	239
法人税等合計	67,280	124,972
四半期純利益	366,462	1,084,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	193,846	386,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,616	698,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	366,462	1,084,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212,338	285,779
退職給付に係る調整額	19,720	16,989
その他の包括利益合計	△192,618	302,769
四半期包括利益	173,844	1,387,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,415	1,001,637
非支配株主に係る四半期包括利益	194,259	385,900

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジニアリング	エム・エムブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	5,070,216	3,521,677	941	8,592,834	27,794	8,620,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153,257	—	197,210	350,467	△350,467	—
計	5,223,473	3,521,677	198,151	8,943,302	△322,672	8,620,629
セグメント利益	118,090	399,977	161,894	679,962	△275,370	404,591

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額7,465千円、セグメント間取引消去△246,579千円及び全社費用△36,256千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジニアリング	エム・エムブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	6,302,072	4,752,957	1,108	11,056,138	△701,105	10,355,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	204,818	—	337,263	542,082	△542,082	—
計	6,506,891	4,752,957	338,371	11,598,220	△1,243,187	10,355,033
セグメント利益	381,946	872,810	306,416	1,561,174	△396,103	1,165,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△60,811千円、セグメント間取引消去△303,337千円及び全社費用△31,954千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況(連結)

① 生産の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	5,194,440	61.4	6,293,140	75.0	23,382,720	65.9
エム・エムブリッジ	3,234,870	38.3	2,801,829	33.4	11,438,109	32.3
その他	941	0.0	1,108	0.0	2,099	0.0
調整額	27,794	0.3	△701,105	△8.4	639,954	1.8
合計	8,458,047	100.0	8,394,973	100.0	35,462,884	100.0

② 受注の状況

(受注高)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	12,342,125	80.2	3,998,002	33.0	34,580,703	62.4
エム・エムブリッジ	3,056,080	19.8	8,117,956	67.0	20,868,947	37.6
その他	941	0.0	1,108	0.0	2,099	0.0
合計	15,399,147	100.0	12,117,067	100.0	55,451,750	100.0

(受注残高)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (平成29年6月30日)		前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	43,362,060	68.0	44,635,480	57.3	46,939,550	61.6
エム・エムブリッジ	20,533,692	32.2	33,308,174	42.7	29,943,176	39.3
その他	—	—	—	—	—	—
調整額	△112,532	△0.2	△23,587	△0.0	△724,692	△0.9
合計	63,783,219	100.0	77,920,067	100.0	76,158,033	100.0

③ 販売の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	5,070,216	58.8	6,302,072	60.9	23,731,304	65.4
エム・エムブリッジ	3,521,677	40.9	4,752,957	45.9	11,925,059	32.8
その他	941	0.0	1,108	0.0	2,099	0.0
調整額	27,794	0.3	△701,105	△6.8	639,954	1.8
合計	8,620,629	100.0	10,355,033	100.0	36,298,417	100.0